

小山内薫 きょうん 詩人、劇作家、小説家、演劇評論家、演出家。明治
 十四年七月、二十六日廣島縣生れ、昭和二年十一月、二十五日歿（二六二—
 一九二八）。筆名はくしん、さき、か生、富士見小僧、小山内などし、小
 山内撫子、小山内生、撫子、東亭翁升、瓦街生、知與子、草重火、薫
 薫生、謝豹、鸚鵡公、畫草、畫草山人、KO生等。父は陸軍軍醫小山
 内建。第一高等學校を經く、明治二十九年東京帝國大學文藝科入學並文
 科卒。在學中武林無想庵、川田順等と同人誌『七人』發行。四十年イ
 パセン會結成、四十一年、二世市川左團次と自由劇場を興す。大正元年
 渡歐、九年松竹キネマ研究所所長。十二年築地小劇場創立に參劃、爾
 來その經營・演出に専心。作家岡田八千代は實妹。『小山内薫全集』
 全八卷（昭和四年一七年春陽堂。復刻版・五十年臨川書店）、『小山
 内薫演劇論全集』全五卷（昭和二十九年一四十二年未來社）刊。

著譯書 『あやの草—あやの會詩集第一』（合著、明治二十九年八月）
 『如山堂書店』、『豐旗雲—あやの會詩集第二』（合著、明治二十九
 年十一月十九日左久良書房）、『明治詩集（附録・新體詩年表）』（合
 著・吉野臥城編、明治四十一年一月、二十七白附文堂）、『窓』（明治
 四十年八月十八日春陽堂）、『演劇新潮』（明治四十一年十一月十
 日博文館）、『蝶』（明治四十一年四月、二十日水野書店）、ヤントン
 ・チエエホノ作『決闘』（譯、明治四十一年四月、二十日東京江堂書房、



『前川文樂閣
 杉本書店發賣』、『笛』（明治四十一年七月十
 日春陽堂）、『演劇新聲』（明治四十五年一月一
 日東京堂書店）、『聲續』（明治四十五年二月十
 日春陽堂）『現代文藝叢書』、『響』（大正二年二月、二十五日山

書活)、『盲目』(大正四年九月十五日四方堂書店)、『江島生鳥』

(大正五年十月十日新潮社「情話新集」)、『世話狂言の研究』(合

著・古劇研究会編、大正五年十一月二十日大正堂書房。再刊・七年

十一月十七日近田書店出版部)、『柏林夜話』(大正五年十二月二十

日春陽堂)、『就眠前』(大正六年一月十日平和出版社)、『黄昏の

世界(或若い役者の手記)』(大正六年六月五日正午出版社)、『北

歐旅日記』(大正六年七月十八日春陽堂)、『ホームレット及びホームレ

ットの研究』(合著、大正七年二月十五日富士山房)、『英一蝶』(大

正七年六月二十日玄文社)、『舊劇と新劇』(大正八年一月十八日玄

文社)、『人間集』(合著、大正八年十二月二十日新潮社)、『ダン

シエエ作『續近代劇五曲』(譯、大正十年二月二十日國文堂書店)、『

石の猿』(大正十年六月五日赤い鳥社「赤い鳥の本」)、『第一の

世界』(大正十一年十月一日新潮社

「現代脚本叢書」)、『近代劇大系』

(共譯・近代劇大系刊行會編、第十

一卷一佛及南歐篇?・大正十二年十

二月十八日、第九卷一英及愛蘭篇・

十二年二月六日新潮社)、『近代情話集』(合著、大正十二年二月七

日大阪・プラトン社「苦樂」四月特別號附録)、『新劇名作集』(合

著・文學研究會編、大正十二年八月十五日玄文堂)、『ハヤゼンクレ

フェル作『人間』(譯、大正十二年六月二十日金星堂「先驅藝術叢

書」)、『足拍子』(大正十二年七月十五日大阪・プラトン社「苦樂

叢書」)、『ピルシエアエルト』(譯、大正十二年七月十五日大阪・プラ



- 十三年七月、千白金星堂「世界近代劇叢書」(一)、コ芝居入門(一) (大正
 十二年十一月一日大阪・プラトン社)、マキシム・ゴルキイ作「夜の
 宿(どん底)」(譯、大正十四年一月、千白金星堂「世界近代劇叢
 書」)、童話劇「ロビーの顔心」(大正十四年七月、千白イデア書院
 「兒童圖書館叢書」)、「小學童話讀本・第五學年下卷」(八月春・菊
 池寛編、大正十四年九月十九日興文社)、リチャード・ヒウズ作
 「炭坑の中(外一篇)」(譯、大正十四年十一月十五日、JOAK・ラヂ
 東京放送局オドラマ研究會藏版、春陽堂發賣「ラヂオドラマ叢書」)、「シエエ
 クスピア戯曲全集」(譯、第一卷「オセロ」)大正十四年十一月二十
 日、第二卷「コエニス」の商人(十五年一月五日聚英閣)、ゲルハルト・
 ハウプトマン作「ロピッツバグ踊る」(譯、大正十五年四月、二十五日原始
 社)、「演劇と文學」(大正十五年四月、二十五日成城學園後援會出版
 部「科學文化叢書」)、「序主」(大正十五年六月十一日春陽堂「現
 代戯曲選集」)、レオニイド・ヤンドレエエナ作「隣人の變」(譯、
 大正十五年八月五日原始社「原始社プレイレット」)、「森有禮」
(海外)(大正十五年八月、二十日改造社)、「各作戯曲鑑賞讀本」(北村喜八
 共編、卷壹「古典上篇・大正十五年十月二十五日、卷參「近代上篇・
 昭和二年一月二十日新詩壇社)、「大川端」(昭和二年十月十八日春
 陽堂)、「小山内薫著作集」(第一卷「演劇論集・上卷」)昭和二年五
 月一日歌舞伎出版部)、「演出者の手記」(昭和二年五月二十日原始
 社)、「新選小山内薫集」(昭和二年八月二日改造社)、「現代長篇
 小説全集・22」「小山内薫
 谷崎精」「集」(昭和四年四月一日新潮社)、「夢の浮
 橋」(昭和四年十一月二十五日歌舞伎出版部「新版草双紙」)、「シエ

ホノ作『決闘』(譯、昭和七年八月十日春陽堂「世界名作文庫」)、
 『安宅入門』(北村喜八補、昭和十四年十月二十日岩波書店「岩波新
 書」、再刊・五十七年二月九日「岩波新書特裝版赤」)、『大川端』
 (昭和二十一年五月二十五日小學館「名作新集」)等。
 文獻、岡田八千代著『若き日の小山内薫』(昭和十五年七月九日中央
 書院「明白香叢書」)、堀川寛一著『小山内薫』(昭和十七年九月一
 十九日桃溪書房)、久保榮著『小山内薫』(昭和二十一年一月一日文
 藝春秋新社)、小西春樹著『小山内薫と樂地小劇場』(昭和二十九年
 七月二十日ハト書房)、岡『小山内薫』(昭和二十六年十一月一日時
 專通信社「一業一人伝」)等。

